



しんろだより ～道～

秋田県立聴覚支援学校 進路指導部
令和6年3月1日発行
No.10



アップデート

進路指導主事 幡宮 明

今冬は「おっパン」「ふてほど」など昔の価値観を持った「おっさん」が主役のドラマがいくつか放映されています。主人公は令和と昭和の価値観を対比させながら、多様性の時代にどうあるべきか、考えをアップデートさせていきます。

さて、特別支援教育課では事務系等の職域に係る職場の開拓や見学、体験、実習の実施を施策として挙げています。先日、会議の中でハローワークの方から「事務系はデスクワークでパソコン作業や書類作成というイメージを持っている方がいる。しかし、それは一昔前の話。就業時間に占めるデータ入力業務の割合は一部であり、仕事内容は在庫管理や来客、電話対応、清掃など多岐にわたっている。また、ITやDX（デジタルトランスフォーメーション）により、仕事の中身が変化している」というお話がありました。業種によって事務系の内容が異なるため、それぞれの業種における仕事内容を知ることが大切です。企業は今、人手不足のため複数の作業を並行して行うマルチタスクの力を求めています。

いろいろなハラスメントも問題になり「以前はこうだった」という考えは通用しなくなっています。生徒に指導するには、時代の変化により仕事の中身が変わってきていることを、まずは私たちがアップデートする必要があると感じています。

令和5年度企業等手話学習補助事業について



秋田県では、手話の学習会を実施する県内の企業や団体等に、無料でろう者や手話通訳者を講師として派遣し、手話の学習を支援する事業を行っています。内容は、手話を用いた簡単な挨拶や自己紹介程度の習得を目指す、初心者向けのものとなっています。これから社会に出るに当たって、周りの人に手話を覚えてもらいたいとき、周りの人と手話でお話したいとき、「企業等手話学習補助事業」のことを紹介し相談してみてもいいかもしれません。

★開催例：会社や施設の研修／サークル活動／町内会の活動 など

問い合わせ先：秋田県 健康福祉部 障害福祉課

ホームページ：<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/34992>

※検索サイトで「秋田県 企業等手話学習補助事業」と入力



サークル活動の行事での実施
(秋田県公式サイトより)



社会福祉法人 長いスプーンでの実施(秋田県公式サイトより)

巣立ちゆく先輩方から

今年度の卒業・修了生は、幼稚部4名、小学部1名、中学部2名、高等部2名、専攻科3名の計12名です。4月からは進学、就職とそれぞれの道へ進んでいきます。高等部3年生、専攻科2年生の皆さんからいただいた、新生活の抱負や在校生へのメッセージをご紹介します。

4月から社会人になります。新しい環境で仕事をする事になります。が、まずは慣れること、そして体調を整えて仕事を頑張りたいです。在校生の皆さん、目標に向かって、勉強や様々な活動頑張ってください。

4月からは自分から積極的に人と関わることを頑張ります。在校生の皆さん、友達と過ごす一日一日を大切にしてください。

4月から土山崎に一人暮らしをするので、料理と仕事ができるように頑張ります。在校生のみなさんと離れるのがさみしいですが働くための勉強を頑張ってください。

私は、四月から能代市内にある病院で働くことになります。不安な事がたくさんありますが、自分な事は積極的に聞くことをがんばります。在校生のみなさんと離れるのはさみしいですがどこかで会えることを信じています。自分を信じてがんばってください。

4月から福島に移動し、公務員として地域の人のために頑張ります。分からない事があたら、自分だけで解決せずに先輩の方々に聞いて取り組む。後輩のみなさん、時間は待っていません。自分が後悔しない生き方とは何かを考え、来からの学校生活に生かしてください。

お知らせ

近日中に進路希望調査を配付します。新年度になってから回収しますので、春季休業中に各家庭で相談、ご記入をお願いします。進路希望調査は、個別面談時の進路に関する情報提供や、学習の充実を図るために活用させていただきます。

今年度最後の「しんろだより～道～」となりました。1年間ご覧いただき、ありがとうございました。次年度も、進路に関する様々な情報を発信して参ります。知りたい情報や疑問などがありましたら、進路希望調査にご記入いただくか、学級担任や進路指導部員までお気軽にお知らせください。